

次期「とくしまの学校における働き方改革プラン」（案）の概要について

1 次期・プランの策定コンセプト

（1）目的

これまでの働き方を見直すことで、教員の健康を守ることはもとより、ウェルビーイングを確保しつつ、高度専門職である教員が新しい知識・技能等を学び続け、徳島の未来を担う子供たちにより良い教育を行うことができるようにすること。

（2）目標

教員の1か月当たりの時間外在校等時間（平均）を令和8年度までに、令和5年度比「25%以上削減」を目指す。

（3）位置付け

県教育委員会の実施計画であるとともに、各市町村教育委員会や各学校、それぞれが自分事として、その権限や責任に基づいて、主体的な取組を促進するもの。

（4）次期・プランの体系

現行プランの成果と課題を踏まえながら、好事例の横展開と先進事例等を取り入れた新たな施策を講じ、働き方改革を強力に推進する。

取組の柱

①タイムマネジメントの徹底

- ・上限指針の遵守と長時間勤務の是正 等

②業務改善の更なる推進

- ・業務の削減、役割分担や適正化 等

③外部人材の積極的活用

- ・支援スタッフの配置拡充
- ・医師・公認心理師等によるカウンセリングの強化 等

④部活動の適正化

- ・中学校の休日部活動の地域移行 等

2 計画期間

令和6年度から令和8年度まで（3年間）（現行プラン：令和3年度から令和5年度）

3 今後のスケジュール

令和6年 2月 文教厚生委員会に案を報告
3月 次期・プラン策定